

第1章

計画の概要

1 計画策定の目的と特徴

喫緊の課題である地球温暖化問題に、すべての「ひとの力」を結集して臨みます

- 世界共通の喫緊の課題である地球温暖化問題に対し、本市では、市民、事業者、行政のすべての力を合わせて2050年カーボンニュートラルに挑戦します。
- この挑戦を、総合的かつ計画的に推進するため、温室効果ガス削減に向けた具体的な目標を定めるとともに、市民、事業者、行政それぞれが主体的に、また、共創しながら積極的に取組を進めていけるよう、本計画を策定するものです。



2 計画の期間及び目標

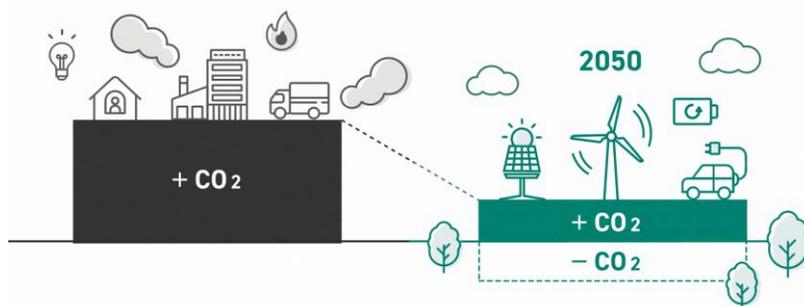
計画期間は2023年度から2030年度まで、基準年度は2013年度とします

- 国の地球温暖化対策計画と整合性を図るため、本計画の期間は2023年度から2030年度まで、基準年度は2013年度とします。
- 2050年カーボンニュートラル達成を長期的目標とし、それに向けた野心的な目標として、本計画の終了年度である2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比で51.6%削減することを目指します。

基準年度	計画策定年度	目標年度	長期目標
2013年度	2022年度	2030年度	2050年



【※カーボンニュートラルとは】



二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの人為的な「排出量」から、植林、森林管理等による人為的な「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること

3 対象とする温室効果ガス

温室効果ガスのうち、主にエネルギー起源CO₂を対象とします

- 本計画では、本市域から排出される温室効果ガスのうち、「エネルギー起源CO₂」と「非エネルギー起源CO₂（廃棄物分野）」を対象とします。
- 対象とする部門等は、「産業部門」、「業務その他部門」、「家庭部門」、「運輸部門」、「廃棄物分野（一般廃棄物）」とします。

【対象ガスと部門等】

対象ガス	部門等	主な発生源
エネルギー起源CO ₂	産業部門	農林水産業、建設業・鉱業、製造業における工場・事業場のエネルギー消費に伴う発生
	業務その他部門	事務所・ビル、商業施設等におけるエネルギー消費に伴う排出
	家庭部門	家庭におけるエネルギー消費に伴う排出
	運輸部門	自動車・鉄道・船舶におけるエネルギー消費に伴う排出
エネルギー起源CO ₂ 以外のガス	廃棄物分野（一般廃棄物）	一般廃棄物の焼却処分に伴う排出【非エネルギー起源CO ₂ 】
	廃棄物分野	廃棄物の焼却処分（一般廃棄物を除く）・埋立処分・排水処理に伴う排出【非エネルギー起源CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O】
	燃料の燃焼分野	燃料の燃焼、自動車走行に伴う排出【CH ₄ 、N ₂ O】
	工業プロセス分野	工業材料の化学変化に伴う排出【非エネルギー起源CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O】
	農業分野	耕作、畜産、農業廃棄物の焼却処分に伴う排出【CH ₄ 、N ₂ O】
	代替フロン等、4ガス分野	代替フロン等を利用した製品の製造等に伴う排出【HFCs、PFCs、SF ₆ 、NF ₃ 】

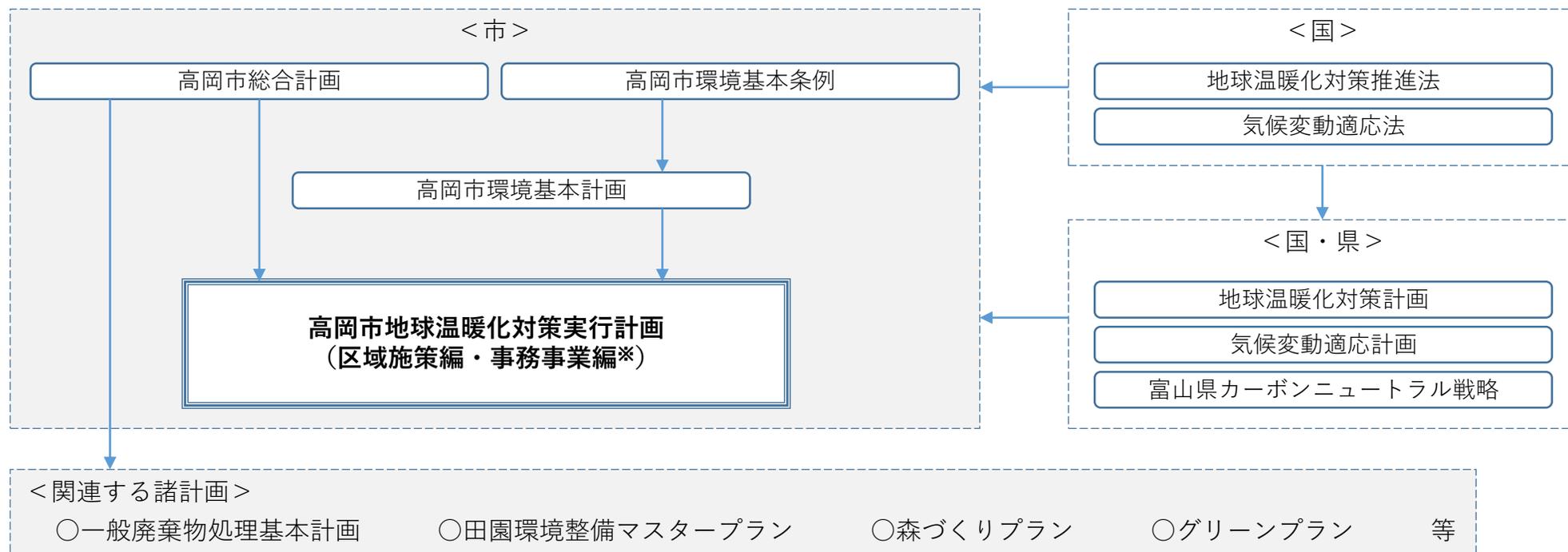
本計画で対象とする
温室効果ガス

||
環境省が毎年度
「自治体排出量カルテ」
として推計・公表

4 計画の位置づけ

本市における地球温暖化対策を、効果的かつ体系的に進めるための計画です

- 本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地方公共団体実行計画」及び「気候変動適応法」に基づく「地域気候変動適応計画」です。
- 国の「地球温暖化対策計画」、県の「富山県カーボンニュートラル戦略」等の地球温暖化関連計画や、市の上位計画である「高岡市総合計画」等との整合を図り、本市における地球温暖化対策を効果的かつ体系的に推進するための計画です。



※区域施策編・・・市の区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定める計画
事務事業編・・・市の事務及び事業に関し、温室効果ガス排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画